

| 項目                            | 特記事項   |
|-------------------------------|--|
| <b>■建築編 3章 土 工 事■</b>         |  |
| <根切り及び埋め戻し等><br>3.2.3 埋戻し及び盛土 | * 埋め戻し及び盛土：※発生土の中の良質土 ・山砂<br>* 建設発生土の利用指定：※無 ・有（ ）からの建設発生土を利用する  |
| 3.2.4 地均し                     | * 地ならしの高さ：   |
| 3.2.5 建設発生土の処理                | ・構内処理<br>* 構外搬出（処分地の指定：※無（自由処分） ・有〔 〕に搬出し、利用する）<br>* 処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。  |
| <山留め>                         |  |
| 3.3.3 山留めの撤去                  | * 山留めの存置：※無 ・有   |
| <b>■建築編 4章 地 業 工 事■</b>       |  |
| <試験及び報告書>                     |  |
| 4.2.2 試験杭                     | * 試験杭の位置、本数、寸法：※図面による ・（ ）   |
| 4.2.3 杭の載荷試験                  | * 杭の載荷試験： ・実施する（ ・水平載荷試験 ・鉛直載荷試験） ⊗実施しない<br>* 試験杭の位置、本数、載荷荷重等：※図面による ・（ ）<br>* 試験の方法：<br>* 報告書の記載事項：※4.2.5(a)(b)による ・（ ）   |
| 4.2.4 地盤の載荷試験                 | * 平板載荷試験： ・実施する ⊙実施しない<br>* 試験位置：図面による 載荷荷重：<br>* 試験の方法：（公社）地盤工学会基準による<br>* 報告書の記載事項等：（公社）地盤工学会基準による   |
| <既製コンクリート杭地業>                 |  |
| 4.3.1 適用範囲                    | * 工法： ・打込み工法 ・セメントミルク工法 ・特定埋込杭工法   |
| 4.3.2 材料                      | * 既製コンクリート杭の種類： ・PHC杭 ・SC杭 ・PRC杭 ・（ ）<br>* 性能及び曲げ強度等による区分等： ・A種 ・B種 ・C種<br>* 杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状等：図面による  |
| 4.3.3 打込み工法                   | * 設計支持力：（ ）kN/本<br>* 施工の種類： ・打撃工法 ・プレボーリング併用打撃工法<br>* プレボーリングの掘削深さ： プレボーリングの掘削径：<br>* 推定支持力の算定方法： ※図面による ・（ ）<br>* 水平方向の位置ずれの精度：図面による  |
| 4.3.4 セメントミルク工法               | * 支持地盤：図面による<br>* 支持地盤への掘削深さ及び根入れ深さ：図面による<br>* 水平方向の位置ずれの精度：図面による  |
| 4.3.5 特定埋込杭工法                 | * 水平方向への位置ずれの精度：図面による<br>* 支持地盤：図面による  |
| 4.3.6 継手                      | * 杭の継手工法：※無溶接工法（仕様等：日本建築センター評定取得工法） ・アーク溶接継手工法   |
| 4.3.7 杭頭の処理                   | * 杭頭の切り揃えの方法： ・外圧方式 ・ダイヤモンドカッター方式  |
| <鋼杭地業>                        |  |
| 4.4.1 適用範囲                    | * 工法： ・打込み工法 ・特定埋込杭工法  |
| 4.4.2 材料                      | * 鋼杭の材料： ・SKK400（鋼管杭） ・SKK490（鋼管杭） ・SHK400（H形鋼杭） ・SHK490M（H形鋼杭）<br>寸法：※図面による ・（ ）<br>* 鋼杭の先端部形状及び補強 鋼管杭で打込工法 先端部形状：※開放型 ・（ ）<br>補強：※（図4.4.1）（表4.4.2）による ・（ ）<br>その他の材料及び工法：先端部形状（ ） 補強（ ）  |
| 4.4.5 継手                      | * 現場継手の工法： ・現場溶接 ・高力ボルト ・（ ）   |
| <場所打ちコン杭地業等>                  |  |
| 4.5.1 適用範囲                    | * ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法  |
| 4.5.3 材料その他                   | * 鉄筋 帯筋：<br>鉄筋かごの補強：※4.5.3(a)(2)(iii)による ・（ ）<br>最小かぶり厚さ：※100mm ・（ ）<br>* コンクリート セメントの種類：※高炉セメントB種 ・（ ）<br>* 場所打ちコンクリート杭のコンクリートの設計基準強度： N/mm <sup>2</sup><br>* 場所打ちコンクリート杭のコンクリートの種別： ・A種 ・B種<br>* 構造体強度補正値(S)： ・3N/mm <sup>2</sup> ・認定工法の条件による [表4.5.1] |
| 4.5.4 アースドリル工法ほか              | * 支持地盤の位置、種類：図面による<br>* 掘削の工法： ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法<br>・性能評価機関の評価、認定を受けた工法（種別： ）<br>* 使用材料及びコンクリートの打設方法等：各工法の標準仕様による<br>* 孔壁の超音波測定器による確認：※ 行う（全数の10%以上） ・行わない<br>* 水平方向への位置ずれの精度：図面による  |
| 4.5.5 場所打ち鋼管コン杭ほか             | * 支持地盤の位置、種類：図面による   |
| 4.6.3 砂利及び砂地業                 | * 厚さ： ・60mm ・（ ）mm ⊙図示による  |
| 4.6.4 捨てコンクリート地業              | * 捨てコンクリート厚さ： ・50mm ・（ ）mm ⊙図示による<br>* 強度： ⊙18N/mm <sup>2</sup> ・（ ）N/mm <sup>2</sup> スランプ： ⊙15 ・18  |
| 4.6.5 床下防湿層                   | * 防湿層：※適用する（範囲：図面による） ・適用しない   |

| 項目   | 特記事項  |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
|--|---|------------------|----------------|-----------------------|----------------|-----------------------|----------------------------|--|--|---------------|--------|--------|------------------|----------------|--|
| <b>■建築編 5章 鉄 筋 工 事■</b>  |   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| <材 料><br>5.2.1 鉄筋  | * 異形鉄筋棒鋼の種別：※SD295A（D16以下） ※ SD345（D19～D25） ※SD390（D29以上）<br>* 高強度せん断補強筋の種別、使用部位及び加工：図面による  |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 5.2.2 溶接金網<br><加工及び組立>   | * 網目の形状、寸法及び鉄線の径：図面による<br>* 加工及び組立ては、公共住宅標準詳細設計図集及び（社）日本建築学会（JASS5）による。   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 5.3.2 加 工  | * 90°未満の折曲げ内径直径（3d以上）   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 5.3.4 継手及び定着   | * 鉄筋継手：※ 重ね継手（D16以下） ※ガス圧接継手（D19以上） ・機械式継手又は溶接継手<br>* 鉄筋の定着方法：※折り曲げ定着方法 ※図面による ・機械式定着 ・（ ）<br>* 加工及び組立ては、公共住宅標準詳細設計図集及び（社）日本建築学会（JASS5）による。   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 5.3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔   | * 土に接する部分の軽量コンクリートのかぶり厚さ：<br>* 耐久性上不利な箇所（塩害の受けるおそれのある部分等）のかぶり厚さ：<br>* 機械式継手及び溶接継手の場合のあき：  |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 5.3.7 各部配筋<br><ガス圧接><br>5.4.9 圧接完了後の試験<br><機械式継手及び溶接継手><br>5.5.2 機械式継手   | * 各部の配筋： ・図面による ・（ ）<br>* 抜取試験： ・超音波探傷試験 ※引張試験<br>* 種類： 工法：<br>* 機械式継手の工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等：<br>※1.2.2[施工計画書]による品質管理で定める ・（ ）  |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 5.5.3 溶接継手   | * 溶接継手の工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等：<br>※1.2.2[施工計画書]による品質管理で定める ・（ ）  |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| <b>■建築編 6章 コンクリート工事■</b>   |   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| <一 般 事 項>  |   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 6.1.2 基本要品質  | 受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。<br>(1) J I Sマーク表示認証製品を製造している工場（工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品に J I S マーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる、全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場（以下「Ⓞマークを取得した工場」という。） から選定し、JIS A 5308（レディーミストコンクリート）に適合するものを用いなければならない。<br>(2) J I Sマーク表示認証製品を製造し、Ⓞマークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。 |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| <コンクリートの種類及び品質>  |   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 6.2.1 コンクリートの種類  | * 気乾単位容積質量による種類：※普通コンクリート ・軽量コンクリート<br>* 適用箇所及び施工時期：<br>寒中コンクリート 適用箇所：※図面による ・（ ） 施工時期：※監督職員と協議 ・（ ）<br>暑中コンクリート 適用箇所：※図面による ・（ ） 施工時期：※監督職員と協議 ・（ ）<br>マスコンクリート 適用箇所：※図面による ・（ ） 施工時期： ・（ ）<br>無筋コンクリート 適用箇所：※図面による ・（ ） 施工時期：※監督職員と協議 ・（ ）<br>流動化コンクリート 適用箇所：※図面による ・（ ） 施工時期：※監督職員と協議 ・（ ）<br>* コンクリートの種別：※Ⅰ類 ・Ⅱ類 [表6.2.1]<br>* 国土交通大臣認定コンクリート（建築基準法第37条第2号）：  |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 6.2.2 コンクリートの強度  | * 設計基準強度(Fc)： ・普通コンクリート（ ）N/mm <sup>2</sup> ・軽量コンクリート（ ）N/mm <sup>2</sup> ⊙図面による  |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 6.2.4 ワ-カビレリイ及スラング   | * コンクリートの荷卸し地点によるスランプ：※表6.2.2による ・（ ）   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 6.2.5 構造体コンクリートの仕上<br><コンクリートの材料及び調査>  | * 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げの種類： ・A種 ※B種 ・C種 [表6.2.4]   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 6.3.1 コンクリートの材料  | * セメントの種類：※普通ポルトランドセメント ※高炉セメント(B種)<br>・高炉セメントA種 ・シリカセメントA種 ・フライアッシュセメントA種 ・エコセメント<br>* 適用箇所 高炉セメントB種：（外構 小規模構造物）<br>フライアッシュセメントB種：（ ）<br>* 骨材の使用 フェロニッケルスラグ細骨材： ・使用する ※使用しない<br>銅スラグ細骨材： ・使用する ※使用しない<br>電気炉酸化スラグ骨材： ・使用する ※使用しない<br>再生骨材H： ・使用する ※使用しない<br>* 砕石、砕砂、細骨材、骨材のアルカリシリカ反応性による区分：※A ・B<br>* 混和剤 種類： ・AE剤 ※AE減水剤 ※高性能AE減水剤 ・（ ） ・使用しない<br>* 混和材 種類： ・フライッシュ(Ⅰ種) ・フライッシュ(Ⅱ種) ・フライッシュ(Ⅳ種) ・高炉スラグ微粉末 ・シリカフェム ・膨張剤  |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 6.3.2 コンクリートの調査<br><レディーミストコンクリートの発注等>   | * 6.3.2(2)(vi)①～③以外の混和材料：種類（ ） 使用方法（ ） 使用量（ ）   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 6.5.4 塩化物物量及びAl <sup>3+</sup> 総量   | * アルカリ総量： 3.0kg/m <sup>3</sup> 以下とする。   |                  |                |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">株式会社 河合建築設計事務所</td> <td style="text-align: center;">初吹住宅建築工事(第3工区)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">縮尺<br/>A<br/>-----<br/>C</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">一級建築士番号 第100481号<br/>河合達雄 印</td> <td style="text-align: center;">建築工事特記仕様書3/10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検<br/>図</td> <td style="text-align: center;">製<br/>図</td> <td style="text-align: center;">設<br/>計<br/>H29年2月</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">愛知県建設部建築局公営住宅課</td> </tr> </table> |   | 株式会社 河合建築設計事務所   |                |                       | 初吹住宅建築工事(第3工区) | 縮尺<br>A<br>-----<br>C | 一級建築士番号 第100481号<br>河合達雄 印 |  |  | 建築工事特記仕様書3/10 | 検<br>図 | 製<br>図 | 設<br>計<br>H29年2月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |  |
| 株式会社 河合建築設計事務所   |   |                  | 初吹住宅建築工事(第3工区) | 縮尺<br>A<br>-----<br>C |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 一級建築士番号 第100481号<br>河合達雄 印   |   |                  | 建築工事特記仕様書3/10  |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |
| 検<br>図   | 製<br>図  | 設<br>計<br>H29年2月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |                       |                |                       |                            |  |  |               |        |        |                  |                |  |

| 項目   | 特記事項  |
|--|---|
| <コンクリートの工事現場内運搬等><br>6.6.3 打継ぎ<br><養生><br>6.7.2 湿潤養生<br><型枠><br>6.8.2 一般事項 | * 目地寸法： 図面による<br>* 普通エコセメント使用時の湿潤養生の期間： ( ) 日以上<br>* 外部に面するコンクリート打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む）の打増し厚さ：<br>* 配筋基準図による<br>* ひび割れ誘発目地： 位置 ( ) 形状 ( ) 寸法 ( ) mm ①図示による。   |
| 6.8.3 材料   | * せき板合板の種類： ・6.8.3(b)(1)によるもの ※6.8.3(b)(2)によるもの ・ ( )<br>* 合板の厚さ： ※12mm ・ ( ) mm<br>* 断熱材を兼用した型枠材： ・使用する（使用箇所： ( )） ・使用しない<br>* MCR工法用シート： ・使用する（使用箇所： ( )） ※使用しない<br>* 配管用等スリーブの材種及び規格等： ※6.8.3(i)(2)(i)～(iv)によるもの ・ ( )       |
| 6.8.5 型枠 存置期間・取外し<br><軽量コンクリート><br>6.10.1 一般事項                             | * 普通エコセメント使用時のせき板の最小存置期間：<br>* 軽量コンクリートの適用箇所： ※図面による<br>* 常時土又は水に直接接する部分： ( )<br>* 軽量コンクリートの種類： ・1種 ・2種 [表6.10.1による]<br>* 気乾単位容積質量 ( )  |
| 6.10.2 材料及び調合<br><寒中コンクリート><br>6.11.1 一般事項                                 | * スランブ： ※21cm ・ ( )<br>* 適用期間： ※JASS5による「打込日を含む旬の平均気温が4℃以下の期間」 ・ ( )  |
| 6.11.2 材料及び調合<br><暑中コンクリート><br>6.12.2 材料及び調合<br><マスコンクリート><br>6.13.1 一般事項  | * 積算温度を元に定める場合：<br>* 構造体強度補正值 (S)： ※6N/mm <sup>2</sup> ・ ( )<br>* 適用箇所：   |
| 6.13.2 材料及び調合  | * セメントの種類： ・中熟ポルトランドセメント ・低熟ポルトランドセメント ・高炉セメントB種<br>・フライアッシュセメントB種 ・普通ポルトランドセメント<br>* 混和剤の種類： ※AE減水剤 ※高性能AE減水剤 ・ ( )<br>* スランブ： ※15cm以下 ・ ( )   |
| <無筋コンクリート><br>6.14.1 一般事項  | * 設計基準強度： ※18N/mm <sup>2</sup> ・ ( )<br>* スランブ： ※15cm ※18cm ・ ( )<br>* 適用箇所： ※図面による ・ ( )   |
| <流動化コンクリート><br>6.15.1 一般事項<br><高強度コンクリート><br>6.16.2 品質                     | * 流動化コンクリート： ・適用する ・適用しない<br>* 水セメント比： 単位セメント量：<br>* スランブ又はスランブフロー<br>設計基準強度<45N/mm <sup>2</sup> の場合： ※スランブ21cm以下又はスランブフロー50cm以下 ・ ( )<br>45N/mm <sup>2</sup> ≦設計基準強度≦60N/mm <sup>2</sup> の場合： ※スランブ23cm以下又はスランブフロー60cm以下 ・ ( ) |
| 6.16.3 材料  | * 高性能AE減水剤以外の混和材料：<br>■建築編 7章 鉄骨工事■   |
| <一般事項><br>7.1.3 鉄骨製作工場   | * 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた、㈱日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とする。<br>グレー： ・S ・H ・M ・R<br>* 施工管理技術者： ※適用する ・適用しない  |
| <材 料><br>7.2.1 鋼材  | * 鋼材の材質、形状及び寸法： 図面による [表7.2.1]  |
| 7.2.2 高力ボルト  | * 高力ボルトの種類： ※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト<br>* 高力ボルトの径： 図面による  |
| 7.2.3 普通ボルト  | * ボルト及びナットの種類等： ※表7.2.3 ・図面による ・ ( )<br>* ボルトの径： ※図面による ・ ( )   |
| 7.2.4 アンカーボルト  | * 構造用アンカーボルトの種類： ※図面による ・ ( )<br>* 建方用アンカーボルトの種類： ※図面による ・ ( )<br>* ボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度： ※表7.2.3による ・ ( )  |
| 7.2.5 溶接材料   | * 溶接棒等（表7.2.4）、シールドガス以外の材料： ・図面による ・ ( )  |
| 7.2.6 ターンバックル  | * 種類 建築用ターンバックル胴： ※割枠式 ・図面による ・ ( )<br>建築用ターンバックルボルト： ※羽子板ボルト ・図面による ・ ( )<br>* ねじの呼び：  |
| 7.2.7 デッキプレート  | * デッキプレート版用デッキプレートの材質、形状、寸法(単独の構法)： ※図面による ・ ( )<br>デッキプレートの種類： ※JIS G 3352<br>* デッキプレート版用デッキプレートの材質、形状、寸法(合成スラブ)： ※図面による ・ ( )<br>デッキプレートの種類： ※JIS G 3352<br>* (a)～(c)以外のデッキプレートの材質、形状、寸法： ※図面による ・ ( )                        |
| 7.2.8 レール  | * 形状及び寸法等： ※図面による ・ ( )   |
| 7.2.9 柱底均しモルタル   | * 無収縮モルタル： ※使用する ・使用しない<br>* 無収縮モルタルとする場合の材料、調合等： ※7.2.9(b)(1)～(4)による ・ ( )   |
| 7.2.10 材料試験等   | * 板厚方向に引張力を受ける鋼板のJIS G 0901による試験： ※実施する ・実施しない  |

| 項目   | 特記事項  |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
|--|---|------------------|----------------|-----------------------|--|-----------------------|----------------------------|--|---------------|--|--------|--------|------------------|----------------|--|
| <工 作 一 般><br>7.3.2 工作図   | * 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等：<br>* ※図面による ・ ( )   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 7.3.10 仮組<br><高力ボルト接合><br>7.4.2 摩擦面の性能及び処理   | * 仮組： ・実施する ※実施しない<br>* すべり係数試験： ・実施する ※実施しない<br>* 試験の方法： 試験片の摩擦面の状態：   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 7.4.7 締付け  | * J I S形高力ボルトを回転法で本締めする場合<br>ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合のナット回転量：  |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| <溶 接 接 合><br>7.6.3 技能資格者   | * 溶接技能者に対する技量付加試験： ・実施する ※実施しない   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 7.6.4 材料準備   | * 開先の形状： ※図面による ・ ( )   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 7.6.7 溶接施工   | * エンドタブの取扱い<br>切除の有無： ・あり ※なし 適用箇所：<br>* 完全溶込み溶接<br>板厚が異なる場合の付合せ溶接 低応力高サイクル疲労を受ける部位： ※図面による ・ ( )<br>スカラップの形状： ※図面による ・ ( )   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 7.6.11 溶接部の試験  | * 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験： ※実施する ・実施しない<br>* 工場溶接の場合 平均出検品質限界(AOQL)： ・2.5% ※4%<br>* 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準<br>* 工事現場溶接の場合 平均出検品質限界(AOQL)： ・2.5% ※4%   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| <スタッド溶接、デッキプレート溶接><br>7.7.8 デッキプレートの溶接<br><錆止め塗装><br>7.8.3 塗料の種類   | * デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法： ※図面による ・ ( )<br>* SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料： ※表18.3.1のA種 ・ ( )<br>* 耐火被覆材の接する面： ・塗装する（塗料の種類： ( )） ・塗装しない   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| <耐 火 被 覆><br>7.9.2 耐火被覆の種類及び性能   | * 種別： ・耐火材吹付け ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り ・ ( )<br>* 性能： ※図面による ・ ( )  |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| <工事現場施工><br>7.10.3 アンカーボルト等の設置   | * 構造用アンカーボルトの形状・寸法： ※図面による ・ ( )<br>* アンカーフレームの形状・寸法： ※図面による ・ ( )<br>* 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法： ※A種 ・B種 ・C種 [表7.10.1]<br>* 柱底均しモルタル 厚さ： ( ) mm 工法： ※A種 ・B種 [表7.10.2]  |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| <軽量形鋼構造><br>7.11.2 施工<br><溶融亜鉛めっき工法><br>7.12.4 高力ボルト接合   | * ボルトの接合方法： ※図面による ・ ( )<br>* 摩擦面の処理： ※プラスト処理<br>・プラスト以外の特別な処理（方法： ( ) すべり耐力等の確認方法： ( )）<br>* ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合のナット回転量：   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| <補強CB造><br>8.2.2 材 料   | ■建築編 8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事■<br>* コンクリートブロックの種類： ※空洞ブロック16 ・空洞ブロック08  |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 8.2.4 コンクリートの調合  | * 表8.2.2以外のコンクリートの設計基準強度： ※21 N/mm <sup>2</sup> ・ ( ) N/mm <sup>2</sup>   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 8.2.5 鉄筋の加工及び組立<br><CB帳壁及び塀><br>8.3.2 材 料  | * 各部の配筋： ※図面による ・ ( )<br>* 圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法、種類： ※8.3.2(a)による ・ ( )<br>* 化粧有ブロック（塀の場合） ・使用する ・使用しない   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 8.3.3 鉄筋の加工及び組立て<br><ALCパネル><br>8.4.2 材 料  | * 各部の配筋： ※図面による ・ ( )<br>* パネルの区分、単位荷重、厚さ、長さ等：<br>* パネルの耐火性能：   |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 8.4.3 外壁パネル構法  | * 外壁パネル構法の種類： ・A種 ・B種 [表8.4.2]<br>* 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法：<br>* パネル幅の最小限度： ※300mm ・ ( )<br>* 出・入隅のパネル接合部、パネルと他部材との取合い部の伸縮目地幅： ※図面による ・ ( ) mm<br>* (f)、(g)の伸縮目地部分に耐火目地材： ・充填する ・充填しない                        |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 8.4.4 間仕切壁パネル構法<br><押出成形セメント板(ECP)><br>8.5.2 材 料   | * 間仕切壁パネル構法の種類： ・C種 ・D種 ・E種 [表8.4.3]<br>* パネルの種類、厚さ等： ※図面による ・ ( )  |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 8.5.3 外壁パネル工法  | * 種別： ・A種 ・B種 [表8.5.1]<br>* 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法：<br>* パネル相互の目地幅 長辺： ※8mm以上 ・ ( ) mm 短辺： ※15mm以上 ・ ( ) mm<br>* 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅： ※15mm（シリング材15×10(mm)充填） ・ ( ) mm<br>* 耐火構造以外の目地及び隙間の処理： ※パネル製造所の仕様 ・ ( ) |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 8.5.4 間仕切壁パネル工法  | * 種別： ・B種 ・C種 [表8.5.2]  |                  |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">株式会社 河合建築設計事務所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">初吹住宅建築工事(第3工区)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">縮尺<br/>A<br/>-----<br/>D</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">一級建築士番号 第100481号<br/>河合達雄 印</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">建築工事特記仕様書4/10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検<br/>図</td> <td style="text-align: center;">製<br/>図</td> <td style="text-align: center;">設<br/>計<br/>H29年2月</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">愛知県建設部建築局公営住宅課</td> </tr> </table> |   | 株式会社 河合建築設計事務所   |                | 初吹住宅建築工事(第3工区)        |  | 縮尺<br>A<br>-----<br>D | 一級建築士番号 第100481号<br>河合達雄 印 |  | 建築工事特記仕様書4/10 |  | 検<br>図 | 製<br>図 | 設<br>計<br>H29年2月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |  |
| 株式会社 河合建築設計事務所   |   | 初吹住宅建築工事(第3工区)   |                | 縮尺<br>A<br>-----<br>D |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 一級建築士番号 第100481号<br>河合達雄 印   |   | 建築工事特記仕様書4/10    |                |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |
| 検<br>図   | 製<br>図  | 設<br>計<br>H29年2月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |                       |  |                       |                            |  |               |  |        |        |                  |                |  |

| 項目                  | 特記事項   |
|---------------------|--|
| 8.5.5 溝掘り及び開口部の処置   | * パネルの開口の限度：<br><b>■建築編 9章 防水工事■</b><br>* 防水の保証期間は、工事目的物引き渡しの日からモルタル防水5年、その他防水10年とする。  |
| <一般事項>              |  |
| 9.1.3 施工一般          | * 屋根防水等の種別： ・アスファルト防水 ・改質アスファルトシート防水 ⊙アスファルトシングル葺<br>・合成高分子系ルーフィングシート防水 ⊙塗膜防水 ・ケイ酸質系塗布防水   |
| <アスファルト防水>          |  |
| 9.2.2 材料            | * 改質アスファルトルーフィングシート 種類： ※表9.2.3～表9.2.8による ・ ( ) 厚さ：<br>* 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類： ※表9.2.5～表9.2.8による ・ ( ) 厚さ：<br>* 押え金物 材質： ※アルミニウム ・ ( ) 形状寸法： ※L-30×15×2.0(mm) ・ ( )<br>* 断熱材（屋根保護防水断熱工法） 材質： ※9.2.2(h) ・ ( ) 厚さ：<br>* 断熱材（屋根露出防水断熱工法） 材質： ※9.2.3(i) ・ ( ) 厚さ：<br>* 絶縁シート 材料（屋根保護防水密着工法・屋根保護防水絶縁工法）： ※ポリエチレン(ρ=0.15以上) ・ ( )<br>材料（屋根保護防水密着断熱工法・屋根保護防水絶縁断熱工法）：<br>※ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットクロス(70g/㎡程度) ・ ( )<br>* 乾式保護材（立上り部保護）： ・使用する(仕様) ※使用しない<br>* れんが（立上り部保護）： ※JIS R 1250（普通れんが及び化粧れんが） ・ ( ) |
| 9.2.3 防水層の種類、種別、工程  | * 施工箇所毎の工法、種別： ※図面による ・ ( )<br>* 立上り部における保護コンクリートの適用及び工法：<br>* 屋根露出防水絶縁工法 仕上塗料 種類、使用量： [表9.2.7]<br>脱気装置 種類、設置数量： ※ルーフィング類製造所の指定 ・ ( )<br>* 屋根露出防水絶縁断熱工法 仕上塗料 種類、使用量： [表9.2.8]<br>脱気装置 種類、設置数量： ※ルーフィング類製造所の指定 ・ ( )<br>* 屋根防水密着工法 保護層： ・有(工法) ・無 [表9.2.9]  |
| 9.2.4 施工            | * 下地 モルタル塗 適用箇所： ・ ( ) ・図面による<br>* 立上り（コンクリート打放し仕上げ）： ※表6.2.4のB種 ・ ( )<br>* ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置（屋根露出防水絶縁断熱工法）：<br>※図面による ・ ( )  |
| 9.2.5 保護層等の施工       | * 平場の保護コンクリート厚さ： ・80mm以上 ・60mm以上 ・ ( ) ・図面による<br>* 立上り部の保護： ・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え ・モルタル押え（屋内等）<br>* 屋上排水溝：   |
| <改質アスファルトシート防水>     |  |
| 9.3.2 材料            | * 改質アスファルトシート、粘着層付改質アスファルトシート、部分粘着層付改質アスファルトシート<br>種類： ※表9.3.1～表9.3.3による ・ ( ) 厚さ：<br>屋根露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 材質及び厚さ： ※9.3.2(c)(2)による ・ ( )<br>* 絶縁用シート： ※9.3.2(c)(4)による ・ ( )   |
| 9.3.3 防水層の種類及び工程    | * 施工箇所毎の種別： ※図面による ・ ( )<br>* 屋根露出防水密着工法 仕上塗料 種類、使用量： [表9.3.1]<br>* 屋根露出防水絶縁工法 仕上塗料 種類、使用量： [表9.3.2]<br>脱気装置 種類、設置数量： ※改質アスファルトシート製造所の指定 ・ ( )<br>* 屋根露出防水絶縁断熱工法 仕上塗料 種類、使用量： [表9.3.3]<br>脱気装置 種類、設置数量： ※改質アスファルトシート製造所の指定 ・ ( )<br>* 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿層： ・有 ・無 ・ ( )  |
| <合成高分子系ルーフィングシート防水> |  |
| 9.4.2 材料            | * ルーフィングシート： 種類 ※表9.4.1～表9.4.3による ・ ( ) 厚さ：<br>* 絶縁用シート 材質： ※発泡ポリエチレンシート ・ ( )<br>* 固定金具 材質及び形状寸法： ※9.4.2(c)(2) ・ ( )<br>* 断熱工法に用いる断熱材 材質： 厚さ：   |
| 9.4.3 防水層の種類及び工程    | * 合成高分子系ルーフィングシート防水 仕上塗料 種類、使用量： [表9.4.1]<br>立上がりシートの厚さ（種別 S-M2の場合）： ※1.5mm ・ ( )<br>* 合成高分子系ルーフィングシート防水（断熱工法） 仕上塗料 種類、使用量： [表9.4.2]<br>立上りシートの厚さ（SI-M2の場合）： ※1.5mm ・ ( )<br>* 合成高分子系ルーフィングシート防水（屋内保護密着工法） モルタル塗り厚さ： [表9.4.3]  |
| 9.4.4 施工            | * 日地処理(接着工法及び屋内保護密着工法) PCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合：<br>* PCコンクリート部材の入隅部の増張り 種別 S-F1、SI-F1の場合：<br>ALCパネル下地及びPCコンクリート部材の入隅部の増張り 種別 S-C1の場合：<br>* 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法：<br>* 保護層（屋内保護密着工法）<br>平場モルタル塗り 床塗り工法： ※15.2.5(b)(2)及び(3)に準ずる ・ ( )<br>下地モルタル塗り(タイル張り下地等)： ※15.2.5(c)(1)に準ずる ・ ( )<br>平場保護コンクリート仕上げ厚 保護コンクリート厚さ： ( ) mm<br>立上り部保護モルタル塗厚： ※7mm以下 ・ ( )   |
| <塗膜防水>              |  |
| 9.5.3 防水層の種類及び工程    | * ウレタンゴム系塗膜防水（・絶縁工法 ⊙密着工法）の適用箇所： PH部分、玄関屋根<br>* ウレタンゴム系塗膜防水の仕上塗料の種類、使用量： MOC A非含有材 [表9.5.1]<br>* 絶縁工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量：<br>* ゴムアスファルト系塗膜防水の種類： ・Y-1 ・Y-2 [表9.5.2]<br>* Y-2の場合の保護層（工程4及び工程5）： ・適用する ・適用しない  |
| 9.5.4 施工            | * 下地 モルタル塗 適用箇所： EVピット<br>* 立上り（コンクリート打放し仕上げ）： ※表6.2.4のB種 ・ ( )  |
| <ケイ酸質系塗布防水>         |  |
| 9.6.1 適用範囲          | * 9.6.1表以外の適用部位： ⊙図面による ・ ( ) [表9.6.1]   |
| 9.6.3 防水層の種類及び工程    | * 防水層の種類及び工程： ・C-U I ・C-U P [表9.6.2]   |
| 9.6.4 施工<br><シーリング> | * 9.6.4(b)(1)～(3)以外の下地処理： ・図面による ・ ( )   |
| 9.7.2 材料            | * シーリング材の種類及び施工箇所：<br>※種類は被着体に応じたものとし [表9.7.1] を標準とする  |

| 項目                                       | 特記事項  |
|--|---|
| 9.7.3 目地寸法                               | * シーリング材の目地寸法： ※9.7.3(a)(1)、(2)、(3)による ・ ( )  |
| 9.7.5 シーリング材の試験                          | * 接着性試験： ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験  |
| <一般事項>                                   |   |
| 11.1.3 伸縮調整目地等<br><セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り> | * 目地の位置： ※表11.1.1 ・ ( )   |
| 11.2.2 材料                                | * 形状、寸法、耐凍害性の有無、耐滑り性、標準色・特注色の別等： ・図示による<br>* 役物： ・有 ・無 試験張り： ・有 ※無 見本焼き： ・有 ※無  |
| 11.2.7 施工                                | <<下地及びタイルごしらえ>><br>* モルタル塗りのコンクリート素地面： ・MCR工法 ・目荒し工法 ・ ( )<br>* 壁タイル張り工法 外装タイル： ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り<br>[表11.2.3] 内装タイル以外のユニットタイル： ・マスク張り ・モザイクタイル張り  |
| <接着剤による陶磁器質タイル張り>                        |   |
| 11.3.2 材料                                | * 形状、寸法、耐滑り性、標準色・特注色の別等：<br>* 役物： ・有 ・無 試験張り： ・有 ※無 見本焼き： ・有 ※無   |
| 11.3.4 シーリング材                            | * 外装壁タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材：<br>* 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地： ※ポリウレタン系 ・ ( )<br>* 伸縮調整目地、その他の目地： ※変成シリコン系 ・ ( )  |
| 11.3.7 施工                                | * モルタル塗りのコンクリート素地面： ・MCR工法 ・目荒し工法 ・ ( )<br>* 壁タイル張りの工法： ※表11.3.2による ・図面による ・ ( )  |
| <陶磁器質タイル型枠先付け>                           |   |
| 11.4.2 材料                                | * 役物： ・有 ・無 試験張り： ・有 ※無 見本焼き： ・有 ※無<br>* タイル型枠先付け面のせき板： ・6.8.3(b)(2) ・金属製タイル先付け用パネル ・ ( )   |
| 11.4.3 タイル型枠先付けの種類                       | * タイル型枠先付けの種類： ・タイルシート法 ・目地榫法 ・棧木法 [表11.4.1]  |
| <一般事項>                                   |   |
| 12.1.4 表面仕上げ<br><材料>                     | * 仕上げの程度の種類（・A種 ・B種 ・C種）及び適用箇所： ※図面による ・ ( ) [表12.1.1]  |
| 12.2.1 木材                                | * 一般事項 含水率 下地材： ※A種 ・B種 造作材： ※A種 ・B種<br>* 日本農林規格JASによる製材<br>部材毎の樹種、寸法、等級、形状、含水率等： ※図面による ・ ( )<br>下地用針葉樹製材の等級： ※2級 ・ ( )<br>造作用針葉樹製材の板類における等級<br>柾、額縁、敷居、かまい、かまちの類の見え掛り面： ※小節以上 ・ ( )<br>それ以外： ※小節以上 ・ ( )<br>広葉樹製材の等級： ※1級 ・ ( ) 含水率： ※10%以下 ・ ( )<br>* JAS以外の製材<br>部材毎の樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理、含水率等： ※図面による ・ ( )<br>造作材の材面の品質： ※A種 ・B種 [表12.2.2]<br>* 樹種 下地材： ※杉、松 ・表12.2.3の代用樹種 ・図面による<br>造作材： ※杉、松、ひのき ・表12.2.4の代用樹種 ・図面による<br>* 造作集成材： ・JASによる造作用集成材 ・JAS以外の造作用集成材 ・ ( )<br>* 部材毎の樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び見付け面材の等級等： ※図面による ・ ( )<br>* 造作用単板積層材： ・JASによる単板積層材 ・JAS以外の単板積層材 ・ ( )<br>部材毎の厚さ、表面の品質、防虫処理、含水率等： ※図面による ・ ( )<br>* 床張り用合板等<br>普通合板 厚さ ※5.5mm ・ ( ) mm 表板の樹種 ( ) 接着の程度 ※1類 ・ ( )<br>板面の品質 ※2等以上（広葉樹） ※C-D以上（針葉樹） ・ ( )<br>防虫処理 ・行う ( ) ・行わない<br>構造用合板 厚さ： ※12mm ・ ( ) mm 接着の程度： ※1類（湿潤箇所を除く） ・ ( )<br>表板の樹種： 等級： ※2級以上 ・ ( ) 強度等級：<br>板面の品質： ※C-D以上 ・ ( ) 防虫処理： ・行う ( ) ・行わない<br>※「愛知県公営住宅課 内装プレハブ工事特記仕様書」による。<br>* 構造用パネルの等級及び厚さ： |
| <防腐・防蟻・防虫処理>                             |   |
| 12.3.1 防腐・防蟻処理                           | * 下地木材への防腐・防蟻処理： ・処理不要な樹種の製材 ・薬剤の加圧注入 ・薬剤の塗布等<br>* 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理： 適用部位 ( ) 保存処理性能区分 ( )<br>* 薬剤の塗布による防腐・防蟻処理 処理の方法： ※12.3.1(3)(ii) ・ ( )<br>* ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理： ・行う ( ) ・行わない<br>* 表面処理用木材保存（防腐・防蟻）剤は監督職員が承諾するものとする。  |
| 12.3.2 防虫処理<br><RC造等の内部間仕切軸組等>           | * 防虫処理： ※行う ・行わない   |
| 12.4.1 木材                                | * 間仕切軸組に用いる木材： ※杉または松 ・ ( )<br>* 床組に用いる木材（土間タテ類の土台、転ばし大引、転ばし根太）： ※ひのき又は保存処理木材 ・ ( )<br>床組に用いる木材(上記以外)： ※杉または松 ・ ( )   |
| <窓、出入口その他>                               |   |
| 12.5.1 木材                                | * 窓、出入口その他に用いる木材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居： ※ひのき ・ ( )<br>その他： ※松または杉 ・ ( )   |
| <窓、床板張り>                                 |   |
| 12.6.1 木材                                | * 縁甲板、上がりがまちに用いる木材： ※ひのき ・ ( )  |

|                            |    |                  |                |        |
|----------------------------|----|------------------|----------------|--------|
| 株式会社 河合建築設計事務所             |    | 初吹住宅建築工事(第3工区)   |                | A<br>E |
| 一級建築士番号 第100481号<br>河合達雄 印 |    | 建築工事特記仕様書5/10 縮尺 |                |        |
| 検図                         | 製図 | 設計<br>H29年2月     | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |        |

| 項目   | 特記事項  |
|--|---|
| <壁及び天井下地><br>12.7.1 木材                     | * 木材：※杉または松 ・ ( )   |
| <長尺金属板葺><br>13.2.2 材料                      | ■建築編 13章 屋根及びとい工事■<br>* 長尺金属板、板及びコイルの種類：※JIS G 3322の屋根用コイル(種類 記号 ) ・ ( )<br>塗膜の耐久性の種類 ( ) めっき付着量 ( ) 厚さ等 ( )<br>* 下葺材料(釘又はステーブルが打てる下地の場合)：<br>・アスファルトルーフィング940<br>・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・ 複層基材 ・ 粘着層付タイプ)  |
| 13.2.3 工法                                  | * 屋根葺形式 ( ) 屋根葺工法 ( )<br>* 建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法：<br>* 雪止め：・設ける ※設けない   |
| <折板葺><br>13.3.2 材料                         | * 折板 型式：※重ね型 ※はぜ締め型 ・ ( )<br>山高 ( ) 山ピッチ ( ) 厚さ ( )<br>耐力：・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 材料 ※鋼板製(表13.2.1による) ・ ( )<br>* 軒先面戸板：・有 ・無<br>* 断熱材張り：種別 ( ) 厚さ ( ) 防火性能 ( )  |
| 13.3.3 工法<br><粘土瓦葺><br>13.4.2 材料           | * 建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法：<br>* 粘土瓦の種類： 大きさ： 産地等：※愛知県産 ・ ( )<br>役物瓦の種類： 雪止め瓦の使用等：<br>* 瓦棧木 材質：※杉 ※ひのき ・ ( ) 寸法：※幅21×高さ15 (mm) 以上 ・ ( )<br>* 棟補強用心材 材質：※杉 ※ひのき ・ ( ) 寸法：※幅40×高さ30 (mm) 以上 ・ ( )<br>* 下葺材料(釘又はステーブルが打てる下地の場合)：・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 |
| 13.4.3 工法                                  | * 建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法：<br>* 瓦棧木の留付け工法：<br>* 棟の工法：・7寸丸伏せ棟 ・F型用冠瓦伏せ棟 ・のし一休棟 ・のし積み棟 ・ ( )  |
| <と い><br>13.5.2 材料                         | * といその他の材質：※硬質塩化ビニル管 (VP) ・配管用鋼管 ・ ( ) [表13.5.1]  |
| 13.5.3 工法                                  | * 防露巻き(鋼管製とい)：※表13.5.5による ・ ( )   |
| <一般事項><br>14.1.3 工法                        | ■建築編 14章 金属工事■<br>* あと施工アンカーの引抜耐力の確認試験：・行う○行わない<br>* 設計用引張強度：   |
| <表面処理><br>14.2.1 ステンレスの表面仕上げ               | * 表面仕上げの種類：※ヘアライン仕上げ ・ ( )  |
| 14.2.2 76mm等の表面処理                          | * 表面処理の種別：・A-1種 ○A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種<br>・D種(常温乾燥形の塗装 ( )) [表14.2.1]<br>* 陽極酸化皮膜の着色方法：※二次電解着色 ・ ( ) 色合等：  |
| 14.2.3 鉄鋼の亜鉛めっき<br><軽量鉄骨天井下地><br>14.4.2 材料 | * 鉄鋼の亜鉛めっきの種別：・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ○E種 ・F種 [表14.2.2]<br>* 野縁等の種類 屋内：※19形 ・25形 屋外：・19形 ※25形 [表14.4.1]   |
| 14.4.3 形式及び寸法                              | * 屋外の野縁受、吊りボルト、インサートの間隔：○ ( 900 ) mm ・図面による<br>* 屋外の野縁間隔：・ ( 225 ) mm ・図面による  |
| 14.4.4 工法                                  | * ダクト等によってボルトの吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法：図面による<br>* 天井のふところが1.5m以上の場合の補強方法：・14.4.4(h) (1)、(2)による ・ ( )<br>* 天井のふところが3mを超える場合の補強方法：図面による<br>* 耐震性を考慮した補強：図面による ○有り<br>* 耐風圧性を考慮した補強(屋外軒天井、ピロティ天井等)：図面による  |
| <軽量鉄骨壁下地><br>14.5.3 形状及び寸法                 | * スタッド、ランナーの種類：・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ※表14.4.1による ・ ( )<br>* スタッド高さが5.0mを超える場合：   |
| <金属成型板張り><br>14.6.2 材料                     | * 金属成型板：種別 ( ) 表面処理 ( )   |
| 14.6.3 工法                                  | * 取付け用下地：※4節 軽量鉄骨天井下地による ・ ( )<br>* 長尺ものの温度変化に対する伸縮調整継手：・設ける ( ) ・設けない  |
| <アルミニウム製笠木><br>14.7.2 材料                   | * 主な構成部材による種類：・250形 ・300形 ・350形 [表14.7.1]<br>* 笠木本体の材料の表面処理 ( )   |
| 14.7.3 工法                                  | * 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法等：<br>間隔： 固定方法： その他：  |
| <手すり及びタラップ><br>14.8.2 手すり                  | * 材料：・図示による   |
| 14.8.3 タラップ                                | * 材料：・ステンレス製<br>* 表面処理の種別 亜鉛めっき：※表14.2.2のC種 ・ ( )<br>ステンレス：※研磨等の仕上げを行わない ・ ( )  |
| <モルタル塗り><br>15.2.2 材料                      | ■建築編 15章 左官工事■<br>* 既製目地材：・使用する (形状 ) ※使用しない  |
| 15.2.5 工法                                  | * 床の目地：○設置する ・設置しない<br>* 工法： ( ) ※押し目地(割付け間隔縦横1.8m程度(室内)、3.6m程度(廊下))<br>* 外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験：・行う ※行わない   |

| 項目   | 特記事項   |                  |                |        |
|--|--|------------------|----------------|--------|
| <床コンクリート直均し仕上><br>15.3.1 適用範囲<br><セルフベリタ材塗り><br>15.4.2 材料<br><仕上げ塗材仕上げ><br>15.5.2 材料 | * 適用範囲：※図面による ・ ( )<br>* セルフベリタ材の種類及び品質：・せっこう系 ※セメント系 [表15.4.1]<br>* 箇所毎の仕上塗材の種類：※図面による ・ ( ) [表15.5.1]<br>仕上げの形状：・ゆず肌状 ※凹凸状 ・凸部処理 ・ ( )<br>工 法：・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り ・ ( )<br>* 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材：・使用する ( ) ・使用しない<br>* 複層仕上塗材の耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形 ( ) 種<br>* 複層仕上塗材の上塗材 樹脂：※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系 [表15.5.2]<br>溶媒：※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 外観：※つやあり ・つやなし ・マトリック<br>* 防火材料の指定：・有 ○無<br>* 外装厚塗材S1、外装厚塗材Eの上塗材：○適用する ・適用しない<br>* 外装厚塗材Cの上塗材(セメント系以外の場合)： |                  |                |        |
| <その他><br>軽量骨材仕上塗材  | * 軽量骨材仕上塗材の吹き付けによる天井等の仕上工事は次による。<br>材料：※セメント系 ・有機結合材系<br>* A L Cパネルの内壁目地部の形状：※V形目地付き ・ ( )   |                  |                |        |
| 15.5.4 下地処理  | * 軽量骨材仕上塗材：<br>※製造所の仕様による(事前に施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける) ・ ( )   |                  |                |        |
| 15.5.6 工 法   | * 所要量等の確認：※表15.5.4による ・ ( )  |                  |                |        |
| 15.5.7 所要量等の確認<br><マスチック塗材塗り><br>15.6.2 マスチック塗材塗り                                    | * 種別：・A種 ・B種 仕上げ塗り：・有(種類： ) ・無 [表8.5.1]  |                  |                |        |
| 15.8.3 配合及び密度等   | * 仕上げ吹付け厚さ： ( ) mm   |                  |                |        |
| <一般事項><br>16.1.3 防火戸   | ■建築編 16章 建具工事■<br>* 防火戸の指定：※図面による<br>* 自動閉鎖機構及び防火戸と煙感知器等との連動：・する ※しない  |                  |                |        |
| 16.1.4 見本の制作等  | * 建具見本の制作：・有 ※無 特殊な建具の仮組：・実施する ・実施しない  |                  |                |        |
| 16.1.6 その他   | * 開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」の使用箇所：<br>※玄関錠前 ・面格子 ※接地階バルコニー側  |                  |                |        |
| <アルミニウム製建具><br>16.2.2 性能及び構造   | * 耐風圧性の等級：※S-4 ・S-5 ※S-6(適用箇所：5階以上 階以上)<br>* 気密性の等級：※A-3 ・A-4<br>* 水密性の等級：※W-4 ・W-5<br>* 色彩等の種類：※シルバー ・ブロンズ ・ ( ) [表16.2.1]<br>* 防音サッシ及び断熱サッシの種別及び等級：<br>* 防音ドアセット、防音サッシ：・適用する(遮音性等級： ) ・適用しない ○図面による<br>* 断熱ドアセット、断熱サッシ：・適用する(断熱性等級： ) ・適用しない ○図面による<br>* 耐震ドアセット：・適用する(面内変形追隨性の等級： ) ・適用しない ○図面による   |                  |                |        |
| 16.2.3 材料  | * 網戸 防虫網：※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製  |                  |                |        |
| 16.2.4 形状及び仕上げ   | * 建具の枠の見込み寸法：※表16.2.1(外部に面する建具) ・ ( ) mm ・図面による<br>* 構造：網戸用レールは、一般網戸対応型とする。<br>* アルミニウムの表面処理の種別：・A-1種 ※B-1種 ・C-1種<br>・A-2種 ・B-2種 ・C-2種<br>* 標準色・特注色の別等：○標準色<br>* 結露水の処理方法：・図面による ・製作所の仕様による ・ ( )  |                  |                |        |
| 16.2.5 工法<br><樹脂製建具><br>16.3.2 性能及び構造  | * 水切り板、ぜん板等：図面による<br>* 耐風圧性の等級：・S-4 ・S-5 ・S-6(適用箇所：階以上)<br>* 気密性の等級：・A-4<br>* 水密性の等級：・W-4 ・W-5<br>* 外部に面する建具の種別：・A種 ・B種 ・C種 ・ ( ) ・図面による [表16.3.1]<br>* 外部に面しない建具：・(耐風圧性： 気密性： 水密性： ) ・図面による<br>* 防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級：<br>* 外部に面する建具の種別：・T-A種 ・T-B種 ・適用しない ・図面による [表16.3.2]<br>* 断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級：<br>* 外部に面する建具の種別：・H-A種 ・H-B種 ・H-C ・適用しない ・図面による  |                  |                |        |
| 16.3.3 材料  | * ガラス：※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス ・ ( )   |                  |                |        |
| 16.3.4 形状及び仕上げ   | * 建具の枠の見込み寸法：・ ( ) mm ・図面による<br>* 表面色：・標準色 ・特注色  |                  |                |        |
| 16.3.5 工法<br><鋼製建具><br>16.4.2 性能及び構造   | * 水切り板、ぜん板等：図面による<br>* 気密性の等級：※A-3 ・A-4 ・ ( )<br>* 水密性の等級：※W-1 ・W-4 ・W-5 ・ ( )<br>* 耐風圧性の等級：※S-4 ・S-5 ・S-6(適用箇所：階以上)   |                  |                |        |
| 株式会社 河合建築設計事務所   |  | 初吹住宅建築工事(第3工区)   |                | A<br>F |
| 一級建築士番号 第100481号<br>河合達雄 印   |  | 建築工事特記仕様書6/10 縮尺 |                |        |
| 検<br>図   | 製<br>図   | 設<br>計<br>H29年2月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |        |

| 項目                           | 特記事項  |
|------------------------------|---|
| 16.4.3 材料                    | * 遮音性の等級： 断熱性の等級： 内面変形追随性の等級：<br>* 鋼板の適用： ○JIS G 3302による（めっき付着量 ※Z12又はF12 ・（ ））<br>・JIS G 3317による（めっき付着量 ※Y08 ・（ ））   |
| 16.4.4 形状及び仕上げ<br><鋼製軽量建具>   | * 鋼板類の厚さ： ・表16.4.2による ・（区分・使用箇所・厚さ： ） ・図面による  |
| 16.5.2 性能及び構造                | * 簡易気密型ドアセット（気密性：A-3）： ・適用する ・適用しない ○図面による ・（ ）   |
| 16.5.3 材 料                   | * ビニル被覆鋼板： ・適用する ・適用しない ○図面による ・（ ）<br>* カラー鋼板： ・適用する ・適用しない ○図面による ・（ ）<br>* 召合せ、縦小口包み板等： ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金   |
| 16.5.4 形状及び仕上げ<br><ステンレス製建具> | * 鋼板類の厚さ： ・表16.5.1による（1枚の戸の有効寸法950mm以下、有効高さ2400mm以下） ※図面による   |
| 16.6.2 性能及び構造                | * 建具の性能及び構造：  |
| 16.6.3 材料                    | * ステンレス鋼板： ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・SUS430（屋内に限る） ・（ ）   |
| 16.6.4 形状及び仕上げ               | * 表面仕上げ： ※HL ・（ ）   |
| 16.6.5 工法<br><木製建具>          | * 曲げ加工： ※普通曲げ ・角出し曲げ<br>* 内装建具については「愛知県公営住宅課 内装プレハブ工事特記仕様書（平成27年度版）」による。  |
| 16.7.2 材料                    | * 含水率： ・A種 ・B種 ・C種<br>* フラッシュ戸の表面材の合板の種類及び品質等： ※ 16.7.2(b) (1) (i)～(iii) ・（ ）<br>* かまち戸の樹種 かまち： ・（ ） ※図面による 鏡板： ・（ ） ※図面による<br>* ふすまの上張りの種類： ・（ ） ※図面による<br>* 枠及びくつずりの材料 枠： ・（ ） ※図面による くつずり： ・（ ） ※図面による<br>* ふすまの品質及び性能： 図面によるほか、「愛知県公営住宅課 内装プレハブ工事特記仕様書」による。   |
| 16.7.3 形状及び仕上げ               | * フラッシュ戸 表面板の厚さ： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ） mm<br>* かまち戸の見込み寸法： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ） mm<br>* ふすまの見込み寸法： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ） mm<br>* 戸ぶすまの見込み寸法： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ） mm<br>* 紙張り障子の見込み寸法： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ） mm  |
| 16.7.4 工法<br><建具用金物>         | * フラッシュ戸の定規線（引戸）の召合わせ線の形状： ※いんろう付きとしない ・いんろう付きとする<br>* ふすまの線の仕上げ： ・塗り線 ・生地線 [表16.7.9]   |
| 16.8.2 材質、形状及び寸法             | * 金物の種類及び見え掛り部の材質： ※表16.8.1による ・（ ）<br>* 表16.8.1中の* 印の適用並びに備考中の特記について： ※図面による ・（ ）<br>* 各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前： ※図面による ・（ ）<br>* 各住戸玄関扉用及び内装扉用ドア・クローザーの品質及び性能： ※図面による ・（ ）<br>※ドアクローザーは、B L部品のⅡ型の性能を有するものとする。   |
| 16.8.3 取付け施工                 | * 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置： ・図面による ・（ ）   |
| 16.8.4 鍵                     | * 各住戸玄関扉用錠前の種類：<br>※図面による ・サムターン付シリンダー面付箱錠 ・シリンダー彫込箱錠（・(a) (1) (i) ・(a) (1) (ii)） ・（ ）<br>* その他錠前の種類： ・サムターン付シリンダー面付箱錠 ・シリンダー彫込箱錠（・(a) (1) (i) ・(a) (1) (ii)） ・（ ）<br>* タンブラー類の本数： ※6本以上 ・（ ）<br>* 鍵： ※図面による ・3本1組とし、室名札を付ける 鍵箱： ・要 ・不要<br>* キーは、アクリル製室名札をつけ、スチール製箱に収納して提出する。<br>* コンストラクションキー装置： ※取付ける ・取付けない<br>* マスターキー： ○製作する（ ） ・製作しない<br>* マスターキーは、共用部のみで使用でき、各住戸の玄関戸では使用できないものとする。<br>* 引違い戸、引違い窓 鍵違いの種類： ・（ ）種類 ・6種類以上 ・図面による |
| <ガラス>                        |   |
| 16.14.2 材料                   | * ガラスの種類及び厚さ： 図面による<br>* ガラス留め材 ○シーリング材 ○ガスケット（ ○グレイジングチャンネル形 ・グレイジングビード形 ）   |
| 16.14.3 ガラス溝の寸法、形状等          | * 溝の大きさ： ※表16.14.1による（70mm・鋼・ステンレス製建具） ・（ ）   |
| 16.14.4 工法                   | * 熱線反射ガラスの映像調整：   |
| 16.14.5 ガラスブロック積み            | * 材料 ガラスブロック： 表面形状（ クリヤー ） 呼び寸法（ 150角 ） 厚さ（ 95 ）<br>壁用金属枠（ ） 補強材（ ）<br>力骨 材質： ※ステンレス鋼 ・（ ） 寸法 ※径5.5mm ・（ ）<br>形状： ※はしご形複筋及び単筋 ・（ ）<br>化粧目地モルタルの色（ ホワイト ） シーリング材の種類（ PS-2 ）<br>金属製化粧カバー 材質（ ） 寸法（ ） 形状（ ）<br>* 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法：<br>目地幅： 平積み（ 10 ） mm 曲面積み（ ） mm<br>伸縮調整目地： 幅：（ ） mm 位置：@（ ） m以下ごと<br>目地部の力骨の補強方法： ※ガラスブロック製造所の仕様による ・（ ）   |
| <一般事項>                       |   |
| 18.1.3 材 料<br><素地ごしらえ>       | * 防火材料の指定 ・有（ ） ・無  |
| 18.2.2 木部の素地ごしらえ             | * 透明塗料塗りの木部の素地ごしらえの種類： ・A種 ※B種 ・（ ） [18.2.1表による]<br>* 不透明塗料塗りの木部の素地ごしらえの種類： ※A種 ・B種 ・（ ） [18.2.1表による]   |
| 18.2.3 鉄鋼面の素地ごしらえ            | * 鉄鋼面の素地ごしらえの種類： ・A種 ・B種 ※C種 [18.2.2表による]   |
| 18.2.4 亜鉛めっき面素地ごしらえ          | * 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種類： ・A種 ・B種 ※C種 [18.2.3表による]   |

| 項目   | 特記事項  |
|--|---|
| 18.2.5 ミル面等素地ごしらえ                                  | * 種別 ・A種 ※B種 [18.2.4表による]   |
| 18.2.6 コツ面等素地ごしらえ                                  | * コンクリート面の素地ごしらえの種類： ・A種 ※B種 [表18.2.5]<br>* A L Cパネル面の素地ごしらえの種類： ・A種 ※B種 [表18.2.5]<br>ただし耐候性塗料塗りの場合は表18.2.6による  |
| 18.2.7 ボード面等の素地ごしらえ                                | * 目地工法が継目処理工法のせつこうボードの素地ごしらえの種類： ※A種 ・B種 [表18.2.7]<br>* その他のボード類の素地ごしらえの種類： ・A種 ※B種 [表18.2.7]   |
| <錆止め塗料塗り>  |   |
| 18.3.2 塗料種別  | * 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料 ※A種 ・B種 ・C種 [表18.3.2]<br>ただし、つやや合成樹脂エマルジョンペイント塗りの場合はC種とする  |
| 18.3.3 錆止め塗料塗り                                     | * 見え掛り部分の鉄鋼面錆止め塗料塗りの種別： ※A種 ・B種 [表18.3.3]<br>* 見え隠れ部分の鉄鋼面錆止め塗料塗りの種別： ・A種 ※B種 [表18.3.3]<br>* 鋼製建具等の亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗りの種別： ※A種 ・B種 [表18.3.4]<br>* その他の亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗りの種別： ・A種 ※B種 [表18.3.4]  |
| <合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)>                                |   |
| 18.4.2 塗料の種類                                       | * 塗料の種類 ※1種 ・2種   |
| 18.4.3 木部SOP塗り                                     | * 種別 屋外 ※A種 ・B種 屋内 ・A種 ※B種 [表18.4.1]  |
| 18.4.4 鉄鋼面SOP塗り<br><クリヤラッカー塗り(CL)>                 | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.4.2]  |
| 18.5.2 クリヤラッカー塗り                                   | * クリヤラッカー塗りの工程の種別： ・A種 ※B種 [表18.5.1]<br>* 目止めと着色： ・兼用する ※兼用しない  |
| <アクリル樹脂系非水分散形塗料塗(NAD)>                             |   |
| 18.6.2 NAD塗り                                       | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.6.1]  |
| <耐候性塗料塗り(DP)>                                      |   |
| 18.7.2 鉄鋼面DP塗り                                     | * 上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 [表18.7.1]  |
| 18.7.3 亜鉛めっき鋼面DP塗り                                 | * 上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 [表18.7.2]  |
| 18.7.4 コンクリート面等DP塗り<br><つやや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)> | * 種別 ・A種 ・B種 ・C種 [表18.7.3]  |
| 18.8.2 コンクリート面等EP-G塗り                              | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.8.1]  |
| 18.8.4 鉄鋼面EP-G塗り                                   | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.8.3]  |
| <合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)>                             |   |
| 18.9.2 E P塗り                                       | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.9.1]  |
| <合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)>                           |   |
| 18.10.2 コンクリート面等EP-T塗り                             | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.10.1]   |
| <ウルトラ樹脂ワニス塗り(UC)>                                  |   |
| 18.11.2 UC塗り                                       | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.11.1]   |
| <ラッカーエマル塗り(LE)>                                    |   |
| 18.12.2 L E塗り                                      | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.12.1]   |
| <木材保護塗料塗り(WP)>                                     |   |
| 18.14.2 木材保護塗料塗り                                   | * 種別 ・A種 ※B種 [表18.14.1]   |
| <b>■建築編 19章 内 装 工 事■</b>                           |   |
| <一般事項>   |   |
| 19.2.2 材 料   | * 水掛り範囲： ※図示による ・（ ） [図19.1.1]<br>* ビニルシート 種類 ※FS ・（ ） 色柄（ ） 厚さ ※2.0mm（ ）<br>* ビニル床タイル 種類（ ） 厚さ ※2.0mm ・（ ）<br>* 特殊機能床材 帯電防止床シート 種類（ ） 厚さ（ ）<br>帯電防止床タイル 種類（ ） 厚さ（ ）<br>視覚障害者用床タイル 種類（ ） 形状（ ）<br>耐動荷重性床シート 種類（ ） 厚さ（ ）（ ）<br>防滑性床シート、床タイル 種類（ ） 厚さ（ ）<br>* ビニル幅木 厚さ ※1.5mm ・（ ） 高さ ※60mm ・（ ）<br>* ゴム床タイル 種類（ ） 厚さ（ ）<br>* 接着剤（施工箇所の下地がセメント系及び木質系以外の場合）： |
| 19.2.3 施 工   | * 19.2.3(a) (1)～(3)以外の下地の工法（ ）<br>* 熱溶接工法 ※適用する ・適用しない  |
| <フローリング張り>   |   |
| 19.5.2 材 料   | * 天然木化粧複合フローリング： ・A種（積層フローリング） ・B種（ベニヤフローリングB種）<br>・C種（ベニヤフローリングC種） ・D種（ベニヤフローリングD種）<br>* 特殊加工化粧複合フローリング： ・使用する（表面材： ） ※使用しない   |
| 19.5.3 工法一般  | * 工法： ・釘留め・根太張り工法 ・釘留め・直張り工法 ・釘留め・発泡プラスチック系床下地張り工法<br>・釘留め・乾式遮音二重床下地材張り工法 ・接着工法   |
| 19.5.4 釘留め工法                                       | * フローリング及び複合フローリングの樹種： ※なら ・（ ）<br>複合フローリングの種別： ・A種 ・B種 ※C種（根太張り工法の防湿処理 ・有 ・無）<br>* 発泡プラスチック系床下地張り工法の場合のフローリングの種別： ・19.5.2(a) ・19.5.2(b)  |
| 19.5.5 接着工法  | * 樹種 ※なら ・（ ）<br>* モザイクパーケット 樹種（ ） 厚さ（ ） 大きさ（ ）<br>* 裏面の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・（ ）   |
| 株式会社 河合建築設計事務所                                     |   |
| 初吹住宅建築工事(第3工区)                                     |   |
| 一級建築士番号 第100481号 河合達雄 印 縮尺                         |   |
| 建築工事特記仕様書7/10                                      |   |
| A<br>G   |   |
| 検 図  | 製 図   |
| 設 計  | H29年2月  |
| 愛知県建設部建築局公営住宅課                                     |   |